

年度	2012年度	開講部局	医歯薬保健学研究科博士課程医歯薬学専攻
講義コード	TA010101	科目区分	専門的教育科目
授業科目名	生命・医療倫理特論		
授業科目名 (フリガナ)	セイメイ・イリョウリンリトクロン		
英文授業科目名	Advanced course of biomedical ethics		
担当教員名	工藤 美樹		
担当教員名 (フリガナ)	クドウ ヨシキ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	霞	開設期	1年次生 前期
曜日時限	水 1 1 時限, 1 2 時限	講義室	
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義中心
単位	2	週時間	2
対象学生	医歯薬保健学研究科		
授業のキーワード			
教職専門科目		教科専門科目	
プログラムの中での この授業科目の 位置づけ			
到達度評価の評価項目			
授業の目標・概要等	医学・歯学・薬学の領域で行われる教育・研究は、生命に対する尊厳、医療における倫理感・責任感に裏付けられたものでなければなりません。最近の医療情報やゲノムに関する問題も含めて学習し、生命・医療倫理について考察します。		
授業計画	<p>第1回（4月11日） 遺伝子解析研究と倫理 工藤 美樹（産婦人科学）</p> <p>第2回（4月18日） 医学・医療に求められるもの 梶濱 誠（元中国新聞論説員）</p> <p>第3回（4月25日） 医療事故をめぐる法と倫理 日山 恵美（法科大学院）</p> <p>第4回（5月9日） 医療コミュニケーション 堀江 剛（総合科学部）</p> <p>第5回（5月16日） 医学・医療の倫理の歴史 谷田 憲俊（山口大学医学部）</p> <p>第6回（5月23日） 遺伝子診療における倫理 松浦 伸也（原爆放射線医科学研究所）</p> <p>第7回（5月30日） 病理分野における倫理 有廣 光司（病理診断科）</p> <p>第8回（6月6日） 生殖医療と生命倫理—生まれてくる子のために— 原 鐵晃（県立広島病院生殖医療科）</p> <p>第9回（6月13日）</p>		

<p>授業計画</p>	<p>医薬品の使用における倫理 森川 則文 (臨床薬物治療学)</p> <p>第10回 (6月20日) 高齢者ケア 小野 ミツ (九州大学)</p> <p>第11回 (6月27日) 緩和ケアにおける倫理 本家 好文 (広島県緩和ケア支援センター)</p> <p>第12回 (7月4日) 歯科医療における倫理 赤川 安正 (顎口腔頭部医科学)</p> <p>第13回 (7月11日) 臨床試験と医療倫理 杉山 一彦 (がん治療学)</p> <p>第14回 (7月18日) 臨床倫理の基礎と実践 瀧本 禎之 (東京大学医学部)</p> <p>第15回 (7月25日) 新生児医療における倫理 中村 和洋 (小児科学)</p>
<p>教科書・参考書等</p>	
<p>授業で使用する メディア・機器等</p>	<p>テキスト, 配付資料等</p>
<p>予習・復習への アドバイス</p>	
<p>履修上の注意 受講条件等</p>	
<p>成績評価の基準等</p>	<p>授業終了時のレポート及び出席状況等により評価する。</p>
<p>メッセージ</p>	
<p>その他</p>	
<p>学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。 なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しないときがあります。</p>	

年度	2012年度	開講部局	医歯薬保健学研究科博士課程医歯薬学専攻
講義コード	TA010201	科目区分	専門的教育科目
授業科目名	研究方法特論		
授業科目名 (フリガナ)	ケンキュウホウホウトクロン		
英文授業科目名	Advanced Lecture on Methods in biomedical sciences		
担当教員名	吉栖 正生		
担当教員名 (フリガナ)	ヨシズミ マサオ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	霞	開設期	1年次生 前期
曜日時限	木 13時限, 14時 限	講義室	
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義中心
単位	2	週時間	2
対象学生	医歯薬保健学研究科博士課程, 博士課程後期		
授業のキーワード	研究方法		
教職専門科目		教科専門科目	
プログラムの中での この授業科目の 位置づけ			
到達度評価の評価項目			
授業の目標・概要等	<p>「研究方法」をキーワードとして、広く実験技術とその背景にある医学・生物学的知識を学ぶ。 単に技術論に留まらず、研究の心構え（特に研究方法総論）や、講義担当者の研究の世界まで、幅広い領域をカバーし大学院課程で学ぶ内容を豊富なものとする。</p>		
授業計画	<p>1回（4月12日） ガイダンス および RI技術 Introduction / Radioisotope technology 吉栖 正生 小澤孝一郎</p> <p>2回（4月19日） PCR法の原理と応用 The principle of polymerase chain reaction and its application 近藤 慎一</p> <p>3回（4月26日） パッチクランプ法の原理と応用 The principle of the patch-clamp recording 橋本 浩一</p> <p>4回（5月10日） 要因探索のための統計解析 Statistical analysis for exploring risk factors 大瀧 慈</p> <p>5回（5月17日） 遺伝子発現プロファイル Gene expression profile analysis 檜山 英三</p> <p>6回（5月24日） 遺伝子導入 Introduction of genes to cells 坂口 剛正</p> <p>7回（5月31日）</p>		

授業計画	<p>分子機能解析のための統合的アプローチ Integrated approach to understand molecular functions 内匠 透</p> <p>8回(6月7日) 蛋白質の発現と構造プロテオミクス Structural and functional proteomics 的場 康幸</p> <p>9回(6月14日) 細胞画像解析 Bioimaging techniques 田代 聡</p> <p>10回(6月21日) 蛋白質の修飾・分解 Modification and degradation of the proteins 浅野知一郎</p> <p>11回(6月28日) 分子病理学的解析法 Molecular-pathological analysis 大上 直秀</p> <p>12回(7月5日) 疾患遺伝子解析 How to find disease related genes 川上 秀史</p> <p>13回(7月12日) siRNA、shRNAを用いた細胞機能解析法 Cell function analysis using siRNA and shRNA 田原 栄俊</p> <p>14回(7月19日) 培養細胞実験 Experiment for Cell Culture 菅野 雅元</p> <p>15回(7月26日) 遺伝子改変動物の作製と応用 Generation and application of gene-engineered mice 本田 浩章</p>
教科書・参考書等	
授業で使用するメディア・機器等	テキスト, 配付資料等
予習・復習へのアドバイス	
履修上の注意 受講条件等	
成績評価の基準等	講義への出席を評価の基本とする。
メッセージ	講義は日本語で行われるが、海外からの留学生の理解を助けるため、スライドや配付資料中に出来るだけ多く英語を入れるよう、授業担当者に依頼している。
その他	
<p>学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。 なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しない場合があります。</p>	

年度	2012年度	開講部局	医歯薬保健学研究科博士課程医歯薬学専攻
講義コード	TA010301	科目区分	専門的教育科目
授業科目名	スタートアップ生命科学コースワーク		
授業科目名 (フリガナ)	スタートアップセイメイカガクコースワーク		
英文授業科目名	Start-Up Coursework of Biomedical Sciences		
担当教員名	阿部 弘美		
担当教員名 (フリガナ)	アベ ヒロミ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	霞	開設期	1年次生 前期
曜日時限	集中	講義室	
授業の方法	演習	授業の方法 【詳細情報】	講義中心、演習中心、板書多用、ディスカッション、学生の発表、作業、薬品使用
単位	2	週時間	
対象学生	医歯薬保健学研究科 博士課程		
授業のキーワード	スタートアップ生命科学コースワーク		
教職専門科目		教科専門科目	
プログラムの中での この授業科目の 位置づけ			
到達度評価の評価項目			
授業の目標・概要等	医学系・生物学系研究に必要な最も基本的な実験の知識並びに手技を少人数で学ぶ。		
授業計画	<p>新入生オリエンテーションで配布した日程表を参考にすること。</p> <p>毎回の演習終了後1週間以内にポートフォリオを提出すること</p>		
教科書・参考書等	後日通知		
授業で使用する メディア・機器等	テキスト、配付資料、音声教材、映像（ビデオ/PC/その他画像資料）		
予習・復習への アドバイス	事前に自己評価シートに回答し、できることできないことを明確にして演習に取り組む。		
履修上の注意 受講条件等			
成績評価の基準等	出席率・ポートフォリオ		
メッセージ			
その他			
<p>学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。 なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しない場合があります。</p>			

年度	2012年度	開講部局	医歯薬保健学研究科博士課程医歯薬学専攻
講義コード	TA010701	科目区分	専門的教育科目
授業科目名	臨床腫瘍学総論		
授業科目名 (フリガナ)	リンショウシュヨウガクソウロン		
英文授業科目名	Principles of Oncology		
担当教員名	河野 修興		
担当教員名 (フリガナ)	コウノ ノブオキ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	霞	開設期	1年次生 前期
曜日時限	木 1 1 時限, 1 2 時限, 1 3 時限, 1 4 時限	講義室	
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義中心
単位	2	週時間	4
対象学生	がんプロ専門医養成コース生		
授業のキーワード	がん治療専門医 臨床腫瘍学		
教職専門科目		教科専門科目	
プログラムの中での この授業科目の 位置づけ			
到達度評価の評価項目			
授業の目標・概要等	がん治療の専門医師を目指す者にとって必要な臨床腫瘍学総論の知識を習得する。		
授業計画	<p>第1回 4月12日(木) 治療のガイドライン 鳥取大学 紀川 純三 がんセンター</p> <p>第2回 4月19日(木) オンコロジカルイメージングー病期診断法と効果判定ー 広島大学 永田 靖 放射線治療学 教授</p> <p>第3回 4月26日(木) がんの免疫 島根大学 藤田 委由 公衆衛生学</p> <p>第4回 5月10日(木) 放射線診断学 島根大学 北垣 一 放射線医学</p> <p>第5回 5月17日(木) 緩和医療学 広島大学 山脇 成人 精神科 教授</p> <p>第6回 5月24日(木) 化学療法の副作用対策 島根大学 磯部 威 がん化学療法教育学</p> <p>第7回 5月31日(木) バイオマーカーの探索 広島大学 石川 暢久 分子内科学 講師</p> <p>第8回 6月7日(木) 腫瘍生物学 鳥取大学 押村 光雄 遺伝子機能工学</p> <p>第9回 6月14日(木)</p>		

<p>授業計画</p>	<p>統計学と臨床研究 広島大学 田中 純子 衛生学 教授</p> <p>第10回 6月21日 (木) がん対策基本法、がんプロ、腫瘍内科医育成 島根大学 磯部 威 がん化学療法教育学</p> <p>第11回 6月28日 (木) 臨床研究の潮流：試料の取り扱いと包括的同意を中心に 鳥取大学 井藤 久雄 理事</p> <p>第12回 7月5日 (木) 分子標的治療薬 鳥取大学 清水 英治 分子制御内科学</p> <p>第13回 7月12日 (木) がん薬物療法 島根大学 鈴宮 淳司 腫瘍センター</p> <p>第14回 7月26日 (木) 腫瘍外科学 鳥取大学 池口 正英 病態制御外科学</p> <p>第15回 8月2日 (木) 抗腫瘍剤の開発の経緯 temozolomideを例に 広島大学 杉山 一彦 がん化学療法科 教授</p> <p>広島大学・島根大学・鳥取大学の各講師がテレビ会議システムを用いて3大学で分担して講義を行う。広島大学がんプロ専門医養成コースに在籍する者は必修科目である。</p>
<p>教科書・参考書等</p>	<p>新臨床腫瘍学（日本臨床腫瘍学会編） 日本臨床腫瘍学会教育セミナー http://www.nccn.org/ DeVita, et al: CANCER Principles & Practice of Oncology</p>
<p>授業で使用する メディア・機器等</p>	<p>テキスト, 配付資料等</p>
<p>予習・復習への アドバイス</p>	
<p>履修上の注意 受講条件等</p>	
<p>成績評価の基準等</p>	<p>すべての講義が終わった後、規定の出席率（2/3以上）を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。</p>
<p>メッセージ</p>	
<p>その他</p>	
<p>学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。 なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しないときがあります。</p>	

年度	2012年度	開講部局	医歯薬保健学研究科博士課程医歯薬学専攻
講義コード	TA344301	科目区分	専門的教育科目
授業科目名	がん診療各論		
授業科目名 (フリガナ)	ガンシンリョウカクロン		
英文授業科目名	Practice of Oncology		
担当教員名	永田 靖		
担当教員名 (フリガナ)	ナガタ ヤスシ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	霞	開設期	1年次生 前期
曜日時限	水 13時限, 14時 限	講義室	
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義中心
単位	2	週時間	2
対象学生	がんプロ専門医養成コース生		
授業のキーワード	臨床腫瘍学 各論		
教職専門科目		教科専門科目	
プログラムの中での この授業科目の 位置づけ			
到達度評価の評価項目			
授業の目標・概要等	<p>臓器別専門医による最新のがん治療の知識を習得し、EBMの立場から臓器別の思考過程の共通部分と相違点を認識し整理する。</p> <p>臓器別のがん治療法（標準治療）の変遷と、どこまでが判明し、どこからが判明していないか最新の臨床試験の結果や進行中の臨床試験のデザインを通して問題点を把握し、Evidence構築の過程を理解する。意欲のある学生は、新たな臨床試験を立案しプロトコル作成を行うためにこれらの知識を活用する。</p>		
授業計画	<p>1回（4月11日） 女性性器がん 藤原 久也</p> <p>2回（4月18日） 造血器がん（白血病、リンパ腫） 兵頭 英出夫</p> <p>3回（4月25日） 肺がん 藤高一慶</p> <p>4回（5月2日） 結腸・直腸がん 檜井 孝夫</p> <p>5回（5月9日） 緩和医療とコミュニケーションスキル 山脇 成人 小早川 誠</p> <p>6回（5月16日） 頭頸部がん 平川 勝洋</p> <p>7回（5月23日） 肝臓がん 相方 浩</p> <p>8回（5月30日）</p>		

授業計画	<p>骨転移と脳転移 永田 靖</p> <p>9回(6月6日) 食道がん 村上 祐司</p> <p>10回(6月13日) 脳腫瘍 杉山 一彦</p> <p>11回(6月20日) 膵臓がん 村上 義昭</p> <p>12回(6月27日) 小児がん 檜山 英三</p> <p>13回(7月4日) 泌尿器がん 亭島 淳</p> <p>14回(7月11日) Interventional Radiology 柿沢 秀明</p> <p>15回(7月25日) 乳がん 角舎 学行</p>
教科書・参考書等	<p>http://www.nccn.org/ 日本臨床腫瘍学会教育セミナー ASCO (American Society of Clinical Oncology) Best of ASCO</p>
授業で使用する メディア・機器等	テキスト, 配付資料等
予習・復習への アドバイス	
履修上の注意 受講条件等	
成績評価の基準等	出席状況、筆記試験など。
メッセージ	
その他	
<p>学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。 なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しないときがあります。</p>	

年度	2012年度	開講部局	医歯薬保健学研究科博士課程医歯薬学専攻	
講義コード	TA010801	科目区分	専門的教育科目	
授業科目名	放射線統合医科学			
授業科目名 (フリガナ)	ホウシャセントウゴウイカガク			
英文授業科目名	Integrated radiation medical science			
担当教員名	神谷 研二			
担当教員名 (フリガナ)	カミヤ ケンジ			
研究室の場所		内線番号		
E-mailアドレス				
開講キャンパス	霞	開設期	1年次生 前期	
曜日時限	木 11時限, 12時 限	講義室		
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義中心	
単位	2	週時間	2	
対象学生	医歯薬保健学研究科博士課程			
授業のキーワード				
教職専門科目		教科専門科目		
プログラムの中での この授業科目の 位置づけ				
到達度評価の評価項目				
授業の目標・概要等				
授業計画	<p>第1回(4月12日) ヒト放射線障害の概略 (Cellular and molecular basis of radiation induced human diseases) 神谷 研二</p> <p>第2回(4月19日) 細胞に及ぼす放射線障害の概略 (Cellular and molecular basis of radiation effect) 河合 秀彦</p> <p>第3回(4月28日) 放射線損傷と修復 (Repair of radiation-induced DNA damage) 田代 聡</p> <p>第4回(5月10日) 放射線発がんの基礎 (Molecular basis of radiation induced cancer) 稲葉 俊哉</p> <p>第5回(5月17日) 放射線高感受性遺伝病 (Genetic disorders with defective DNA damage repair) 松浦 伸也</p> <p>第6回(5月24日) 原爆放射線と白血病 (Atomic bomb radiation and leukemia) 原田 浩徳</p> <p>第7回(5月31日) 新規生物学的線量評価法の開発 (Development of the new bio-dosimetry methods) 飯塚 大輔</p>			

<p>授業計画</p>	<p>第8回（6月7日） 緊急被ばく医療1 (Radiation emergency medicine 1) 谷川 攻一</p> <p>第9回（6月14日） 急性障害：骨髄障害と再生 (Radiation induced haematopoietic insufficiency and regeneration) 瀧原 義宏</p> <p>第10回（6月21日） 急性障害：血管障害と再生 (Vascular injury and angiogenesis) 東 幸仁</p> <p>第11回（6月28日） 放射線障害のない放射線治療をめざして (Radiation therapy without complications) 永田 靖</p> <p>第12回（7月5日） 緊急被ばく医療2 (Radiation emergency medicine 2) 細井 義夫</p> <p>第13回（7月12日） 低線量放射線の生物影響 (Biological effects of low dose radiation) 笹谷 めぐみ</p> <p>第14回（7月19日） 放医研 福村 明史 放射線医療における物理学の基礎 (Fundamental Physics in Medicine and Biology)</p> <p>第15回（7月19日） 放射線被ばく医療関係国際機関の活動 (International organizations for radiation emergency medicine) 放医研 立崎 英夫</p>
<p>教科書・参考書等</p>	
<p>授業で使用する メディア・機器等</p>	<p>テキスト, 配付資料</p>
<p>予習・復習への アドバイス</p>	
<p>履修上の注意 受講条件等</p>	
<p>成績評価の基準等</p>	<p>講義内容の理解度, 受講の取り組み度及び出席状況等について総合的に評価する。</p>
<p>メッセージ</p>	
<p>その他</p>	<p>7/19は, 2コマ (17:00から19:30) 連続で授業を行います。</p>
<p>学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力し, 改善につなげていきます。 なお, 受講者が著しく少ない場合などに, アンケートを実施しないときがあります。</p>	

年度	2012年度	開講部局	医歯薬保健学研究科博士課程後期保健学専攻
講義コード	TA010901	科目区分	専門的教育科目
授業科目名	ヘルスプロモーション研究法特論		
授業科目名 (フリガナ)	ヘルスプロモーションケンキュウホウトクロン		
英文授業科目名	Advanced Lecture on Health Promotion		
担当教員名	濱田 泰伸		
担当教員名 (フリガナ)	ハマダ ヒロノブ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	霞	開設期	1年次生 後期
曜日時限	月 1 1 時限, 1 2 時 限	講義室	
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義中心、演習中心、板書多用、ディスカッション、学生の発表、野外実習、 作業、薬品使用
単位	2	週時間	2
対象学生	医歯薬保健学研究科博士課程後期学生		
授業のキーワード	ヘルス		
教職専門科目		教科専門科目	
プログラムの中での この授業科目の 位置づけ			
到達度評価の評価項目			
授業の目標・概要等	各専門領域におけるヘルスプロモーションの現状と今後の課題について討論することで、ヘルスプロモーションの意義を理解し、その実践能力を修得することを目的とする。		
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション</p> <p>第2回 運動と健康</p> <p>第3回 がんの疫学・がんは予防できるか？</p> <p>第4回 ロコモティブ・シンドローム (1)</p> <p>第5回 ロコモティブ・シンドローム (2)</p> <p>第6回 笑いと健康 (1)</p> <p>第7回 笑いと健康 (2)</p> <p>第8回 学校におけるヘルスプロモーション (1)</p> <p>第9回 学校におけるヘルスプロモーション (2)</p> <p>第10回 職場におけるヘルスプロモーション (1)</p> <p>第11回 職場におけるヘルスプロモーション (2)</p> <p>第12回 メンタルヘルス (1)</p> <p>第13回 メンタルヘルス (2)</p> <p>第14回 スポーツリハビリテーション学のヘルスプロモーションへの応用-1</p> <p>第15回 スポーツリハビリテーション学のヘルスプロモーションへの応用-2</p> <p>オムニバス形式で講義を行うため、課題などは教員から個別に指示があります。</p> <p>本講義では、保健学を探究するにあたって、ヒトが健康を保持増進し、コントロールすることが出来るようにするプロセス</p>		

授業計画	であるヘルスプロモーションを学ぶ。そのために、色々な領域におけるヘルスプロモーションの研究法について、オムニバス形式で講義を行う。
教科書・参考書等	講義用レジュメ、必要な文献を各教員より適宜配布する。
授業で使用するメディア・機器等	テキスト、配付資料、音声教材、映像（ビデオ/PC/その他画像資料）
予習・復習へのアドバイス	積極参加
履修上の注意 受講条件等	
成績評価の基準等	出席・レポートなどによって総合的に評価する。
メッセージ	
その他	上記の授業計画は講師の都合により変更することがあります。 10月1日（月）保健学科棟205号講義室で開始となり、その日に全体のオリエンテーションを行います。 各先生の講義は微妙に方法が異なるため、初日は必ず出席をしてください。
<p>学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。 なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しないときがあります。</p>	

年度	2012年度	開講部局	医歯薬保健学研究科博士課程医歯薬学専攻
講義コード	TA011101	科目区分	専門的教育科目
授業科目名	English Presentation		
授業科目名 (フリガナ)	イングリッシュプレゼンテーション		
英文授業科目名	English Presentation		
担当教員名	阿部 弘美		
担当教員名 (フリガナ)	アベ ヒロミ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	霞	開設期	1年次生 前期
曜日時限	木 11時限, 12時 限	講義室	
授業の方法	演習	授業の方法 【詳細情報】	講義中心、演習中心、板書多用、ディスカッション、学生の発表、作業、
単位	2	週時間	2
対象学生	医歯薬保健学研究科 医歯薬学専攻博士課程、口腔健康科学科専攻博士課程後期、薬学科専攻博士課程後期、保健学専攻博士課程後期		
授業のキーワード	英語プレゼンテーション		
教職専門科目		教科専門科目	
プログラムの中で この授業科目の 位置づけ			
到達度評価の評価項目			
授業の目標・概要等	<ul style="list-style-type: none"> ・各自ポスターを1枚作成し、そのポスターに関してプレゼンテーションを行っていただきます。 ・授業は参加型とし、実際の学会会場での発表を想定して1日1人もしくは2人の発表者による発表と参加者による質問を行っていただきます。また、あいだに外国人講師によるフィードバックを行い、より質の高い発表・ディスカッションを目指します。 		
授業計画	<p>第1回 5月17日 ガイダンス・プレゼンテーション講義</p> <p>第2回 5月24日 ポスター作成 PC、発表する内容(データ等)</p> <p>第3回 5月31日 ポスター作成 PC、発表する内容(データ等)</p> <p>第4回 6月7日 プレゼンテーション&ディスカッション1</p> <p>第5回 6月14日 フィードバック</p> <p>第6回 6月21日 プレゼンテーション&ディスカッション2</p> <p>第7回 6月28日 プレゼンテーション&ディスカッション3</p> <p>第8回 7月5日 プレゼンテーション&ディスカッション4</p> <p>第9回 7月12日 フィードバック・全体まとめ</p> <p>第10回 7月19日 プレゼンテーション&ディスカッション総評</p>		
教科書・参考書等	とくになし		
授業で使用する メディア・機器等	配付資料、音声教材、映像(ビデオ/PC/その他画像資料)		
予習・復習への アドバイス	英語での発表・ディスカッションに主眼をおくので日本語での発表やディスカッションの準備が十分にできていることを前提とします。		
履修上の注意 受講条件等			
成績評価の基準等	出席・発表評価		
メッセージ			
その他			

学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。
回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。
なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しない場合があります。

年度	2012年度	開講部局	医歯薬保健学研究科博士課程医歯薬学専攻
講義コード	TA011201	科目区分	専門的教育科目
授業科目名	English Rhetoric & Writing		
授業科目名 (フリガナ)	イングリッシュレトリックアンドライティング		
英文授業科目名	English Rhetoric & Writing		
担当教員名	河本 健		
担当教員名 (フリガナ)	カワモト タケシ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	霞	開設期	1年次生 前期
曜日時限	火 1 1 時限, 1 2 時 限	講義室	
授業の方法	演習	授業の方法 【詳細情報】	講義中心、演習中心、板書多用
単位	2	週時間	2
対象学生	医歯薬保健学研究科 医歯薬学専攻博士課程, 口腔健康科学科専攻博士課程後期, 薬学科専攻博士課程後期, 保健学専攻博士課程後期		
授業のキーワード	英語修辞学		
教職専門科目		教科専門科目	
プログラムの中での この授業科目の 位置づけ			
到達度評価の評価項目			
授業の目標・概要等	生命科学分野の英語論文でよく使われる用語、文法、スタイルなどを学び、論文英語執筆法の習得を目指す。		
授業計画	<p>第1回 5月8日 ライフサイエンス辞書を使いこなそう！</p> <p>第2回 5月15日 英作文は英借文、論文で使われる文型・文の構造の見分け方</p> <p>第3回 5月22日 ライフサイエンス辞書で動詞の使い分けを調べよう</p> <p>第4回 5月29日 副詞句は論文英語のポイント！、前置詞の使い方</p> <p>第5回 6月5日 英語の特徴は形容詞句/形容詞節にあり</p> <p>第6回 6月12日 分の構造の組み立て方・冠詞の使い分け、マイナーな文型の攻略</p> <p>第7回 6月19日 論文でのつなぎ表現・時制の使い分け・副詞の使い分け</p> <p>第8回 6月25日 英語学習法・プレゼンの英語</p> <p>出席及びレポート</p>		
教科書・参考書等	<p>ライフサイエンス英語類語使い分け辞典：河本健編（羊土社）</p> <p>ライフサイエンス英語表現使い分け辞典：河本健／大武博編（羊土社）</p> <p>ライフサイエンス論文作成のための英文法：河本健編（羊土社）</p> <p>ライフサイエンス文例で身につける英単語・熟語：河本健／大武博著（羊土社）</p> <p>ライフサイエンス論文を書くための英作文&用例500：河本健／大武博著（羊土社）</p> <p>ライフサイエンス組み合わせ英単語：河本健／大武博著（羊土社）</p> <p>ライフサイエンス英語超基本の英文法――英語の語順に親しむ：実験医学online (http://www.yodosha.co.jp/jikkenigaku/ls_english/index.html)</p>		
授業で使用する メディア・機器等	テキスト、配付資料、音声教材、映像（ビデオ/PC/その他画像資料）		
予習・復習への アドバイス	なし		
履修上の注意 受講条件等	毎回出席を取ります。急遽欠席となる場合は前日までに必ず担当教員へ電話もしくはメール連絡して下さい。		
成績評価の基準等	出席・レポート提出		

メッセージ	
その他	
<p>学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。 なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しない場合があります。</p>	